

**放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)**

討議年月日:令和 6年 7月 31日

公表:令和 6年 8月 1日

事業所名 児童デイサービス あんしん

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	少人数ずつで活動をしたり、公園に出かけたりしてスペースを考慮している。	未回答3 机やおもちゃの配置に工夫を加えて、より広い環境を提供できるようにする。
	2 職員の配置数は適切である	4	2	時間や活動内容に合わせて、職員配置を工夫している。	未回答1 送迎、現場、業務などの仕事も円滑に回る工夫を心掛けていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	入口周辺はバリアフリー化がされていないため、支援で配慮している。	未回答1 都度、利用児の様子に合わせて支援や環境の変更で過ごしやすい環境を整える。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		常に職員間で声を掛けながら、PDCAサイクルを意識している。	引き続き、PDCAサイクルを上手に活用しながら、支援や業務を進めていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		初回。	未回答2 今回が初回であるため、皆様の意見を参考にしながら、良い環境や支援をご提供できるようにしていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	初回。	未回答3 ブログやホームページ、SNSを活用しながら情報共有をしていく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	初回。	未回答5 現在第三者による外部評価は行えておらず、今後必要に応じて検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行るために、研修の機会を確保している	7		事業所、法人単位での研修を行っている。	職員のニーズに合わせて研修を行ったり、外部研修に参加したりできるようにしていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		月1回の事業所会議やアセスメント会議、日常から情報共有を行い、計画作成を行っている。	未回答1 日常から情報共有を大切にし、アセスメント会議でより深い計画に繋げられるようにする。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	基本情報を含めてアセスメントを行っている。	未回答4 外部からの意見も取り入れながら、常に最新の情報でアセスメントを行えるようにする。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		その日の利用児、状況に合わせて計画と実行をしている。	引き続き、その日の利用児、状況に合わせて計画と実行を行っていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		曜日や利用メンバーを踏まえて、立案している。	引き続き、活動プログラムが固定化しないように、月1回のミーティング、前日、当日に活動の計画、見直しを行っていく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		休日や長期休みには事業所外活動を取り入れたり、それぞれの課題に応じた支援を組み込んだりしながら支援している。	今後も平日、休日、長期休暇だからこそ行うことのできる支援を取り入れていく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		課題に合わせて、計画も支援も個別と集団を分けられるようにしている。	引き続き、個別と集団を組み合わせて、計画、支援を行っていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼でその日の流れや職員の動きを確認するようにしている。	未回答1 職員のグループLINEや口頭での共有で急な変更にも迅速に対応できるようにする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	終了後の共有事項は急ぎのものは緊急で集まって共有している。他は翌日の朝礼で共有している。	必要に応じて終礼を取り入れたり、グループLINEを活用したりして早めに情報共有が行えるようにする。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		活動内容や成長した点、今後の目標などを記録におさめるようにしている。	未回答2 過去の支援内容の確認しながら、継続や改善に繋げていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	定期的にアセスメント会議や保護者の方との面談を通じて、モニタリングを行って。定期的にモニタリングに取り組む。	未回答1 引き続き、定期的にモニタリングに取り組む。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	ガイドラインを確認しながら計画、支援を行っている。	未回答2 職員全員にガイドラインを共有し、意識して支援できるようにしていく。
--	----	---------------------------------	---	---------------------------	---

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加をしている。	未回答1 今後も児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加をし、現場で活かせるよう職員に的確に情報を共有していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		担当者会議や送迎時、保護者の方を通じて、情報共有を行っている。	引き続き、連携がとれる体制を整えていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	医療的ケアを必要としている、重症心身障がいの利用児がない。	未回答6 項目の意図が職員間で共有できるように周知を図ってまいります
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	保護者の方や相談支援員さんを通じて、情報共有をしてもらっている。	未回答1 項目の意図が職員間で共有できるように周知を図ってまいります
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1		卒業生がまだいない。	未回答6 将来に向けて、体制を整えていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	児童部会に参加をしたり、繋がった事業所さんと連絡をとったりしている。	未回答2 今後も連携をとりながら、助言や研修等に繋げていけるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	現状なし。	未回答1 地域の方と交流をはかっていける体制をとっていく。地域に参加をする。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	児童部会に参加をした。	もっと地域に参加していけるように地域の活動を知っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		LINEの連絡ノートや送迎時、電話、面談などを通じて連携をとっている。	未回答3 保護者の方のニーズに合わせて、様々な方法で連携がとれる体制に努めていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン트・トレーニング等の支援を行っている	6	1	面談等で相談業務を行っているが、ペアレン트トレーニングまで広がりきっていない部分もある。	ペアレン트トレーニングに的確に繋げていけるように、知識と経験を広げていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に説明を行っている。	未回答1 契約時だけではなく、都度丁寧な説明ができるように心掛けていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2		常に相談してもらえる体制は整えている。	未回答5 今後も気軽に相談していただけるように努めしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	まだ行うことができていない。	未回答4 今後、父母の会や親子イベント等を計画、実行していきたいと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		ご相談に対して、迅速に対応できるようにしている。	未回答2 可能な限り、迅速かつ丁寧に対応していくように努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		日々の連絡ノートやSNSで様子を発信している。	未回答3 引き続き、発信を行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	6		鍵付きのロッカーを利用し、情報の管理を徹底している。	未回答1 引き続き、慎重に管理を行っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		分かりやすい言葉を使ったり、視覚化したりする工夫をしている。	未回答1 引き続き、工夫を取り入れながら、分かりやすい情報共有を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	招待をする経験がほとんどない。	未回答2 見学や事業所への参加ができるよう、考えていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	6	研修や訓練、マニュアルの共有を行っている。	未回答1 常に情報を更新しながら、誰でも対応や判断ができる体制を整えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	月に1回の避難訓練を行っている。想定や避難場所を常に変えて行うようにし	未回答1 引き続き、定期的な避難訓練を通じて、職員、利用児共に動きを確認していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	虐待防止研修を法人で行っている。	未回答1 定期的に確認し、虐待防止に努めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	計画とは別紙に記載している。	未回答1 別紙のやむを得ない身体拘束について、常に共有と更新をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	食物アレルギーの理解はしている。提供するおやつ等の食品に注意をしている。	未回答2 必要に応じて、医師の診断に基づく対応を取り入れていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	ヒヤリハットは作成しているが、職員間での共有が不十分。	未回答2 ヒヤリハットが出たら、すぐに回覧共有し、職員全員が把握できるようにする。